

元京都市立貞教小学校跡地における 学校法人二本松学院 京都美術工芸大学 東山キャンパス構想について



平成26年5月13日
学校法人 二本松学院

はじめに

学校法人二本松学院は、真に社会で活躍できる人材の育成を目指して平成2年に設立され、京都建築大学校、京都伝統工芸大学校での教育を通じて、建築、伝統工芸等の分野で、有為な人材を輩出してまいりました。こうした実績の上に立って、平成24年4月、全国で唯一「工芸学部」を持つ大学として、京都美術工芸大学を開学しました。

京都美術工芸大学は、世界を代表する美術工芸文化が息づく京都で、我が国の伝統と文化を尊重し、その継承と文化の創造を担う有為な人材を育成することを建学の理念としておりますが、この理念の実現に向け、このたび、元京都市立貞教小学校跡地に、新たに東山キャンパスを設置させていただきたいと考えております。

元貞教小学校区は、美術工芸が息づく工芸のまちであり、また、東山区南部は、三十三間堂、清水寺、京都国立博物館など数々の本物に恵まれた地域であり、私どもにとって理想的な教育環境にあります。

この地で、1200年の歴史と伝統に裏打ちされた本物に触れる教育、京都という都市の利点を最大限に活かした知的刺激豊かな教育を実現したいと考えております。

東山新キャンパスを設置することで、よりよき教育、研究環境を整備するとともに、生涯学習、産業活性化、文化財修復の面でも地域に貢献したいと考えております。

新キャンパスが、地域の皆様の誇りとなり、地域環境の向上、賑わいの創出、地域活動の活性化につながりますことを心から願っておりますので、何卒、ご理解、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

二本松学院 理事長
新谷 秀一

名称:	学校法人 二本松学院
所在地:	京都府南丹市園部町小山東町二本松1-17
設立:	平成2年10月
理事長:	新谷 秀一
学生総数	約1700名
設置校、附属施設:	京都美術工芸大学、京都建築大学校、京都伝統工芸大学校 京都伝統工芸館(烏丸三条)、大阪都島工芸美術館(大阪都島)
主な沿革:	H2 京都府知事より、学校法人二本松学院、京都国際建築技術専門学校設立認可
H3	京都国際建築技術専門学校開校(H19、〈専〉京都建築大学校に校名変更)
H7	京都伝統工芸専門学校開校 (H19、〈専〉京都伝統工芸大学校に校名変更)
H15	京都伝統工芸館オープン
H19	皇太子殿下、京都伝統工芸館をご視察
H22	大阪都島工芸美術館オープン
H23	フランス「エコール・ブール国立工芸学校」、「アトリエ・アール・ド・フランス」と連携協定を締結
	国賓ブータン国王夫妻が、京都伝統工芸館にご来館
H24	京都美術工芸大学開学(4月)

○設立理念：

世界を代表する美術工芸文化が息づく京都で、我が国の伝統と文化を尊重し、その継承と文化の創造を担う有為な人材を育成するため、美術工芸に係る教育・研究を行い、併せて教養を身に付けた専門職業人を育てることにより、国家・社会の発展に貢献する。

○開学：

平成24年4月

○場所：

京都府南丹市園部町小山東町二本松1－17

○学部、学科等

工芸学部 伝統工芸学科（収容定員400名）
（伝統工芸、文化財修理、工芸デザイン、建築の4コース）

○理事長、学長

【理事長】新谷 秀一、【学長】河野 元昭

○特徴等

- ・京都建築大学校、京都伝統工芸大学校に続く、二本松学院の3校目の学校
- ・日本で唯一の工芸学部
- ・伝統工芸コースの中には、陶芸、漆芸、木工、木彫刻の4専攻。
- ・伝統の美と技から、未来を生み出すことができるプロデューサー型人材を育成。
- ・在学中に二級建築士の資格取得が可能（京都建築大学校との連携による）

- | | |
|----------|--|
| ○目的 | 美術工芸文化の息づく京都東山に新キャンパスを設置し、園部キャンパスとのダブルキャンパスとすることで、本物に触れる教育、都市の利点を生かした知的刺激豊かな教育など、より良き教育、研究環境を整備する。 |
| ○場所: | 元京都市立貞教小学校跡地 |
| ○設置学部等: | 京都美術工芸大学 工芸学部 伝統工芸学科 約400名 |
| ○開設予定時期: | 平成29年4月目途 |
| ○建物概要: | 高さ15mの校舎を設置予定
(建築面積は約3000㎡程度、延床面積は約1万㎡程度を想定) |
| ○その他: | 校舎内に講演会等に活用できる500人規模のホールを設置予定。
新キャンパスを二本松学院として利用するケースあり。 |

○元貞教小跡地のある地区には、京焼・清水焼をはじめとする伝統工芸が、世代を超えて受け継がれており、まさに、人々の暮らしの中に美術工芸文化が息づく工芸のまちである。

○周辺に、三十三間堂、清水寺、京都国立博物館など、有名社寺仏閣や博物館等が多数存在しており、この地を拠点に、まち全体をキャンパスとした本物に触れる教育を行うことで、美術工芸に必要な美意識や感性を養うことが可能である。

○また、京都という都市の利点を活かして、第一線で活躍する工芸家、デザイナー、建築家などの実務家や、企業、大学、海外等と交流を深める中で、知的刺激をえたり、グローバル感覚、ビジネス感覚、トレンド感覚を磨いたり、研究成果を積極的に社会還元することが可能である。

元貞教小跡地は、京都美術工芸大学にとって、理想的な教育環境にあります。

	東山キャンパス	園部キャンパス
各キャンパスの特徴	・1200年の歴史と伝統を有し、多くの寺社仏閣、博物館、美術館に恵まれた京都において、まち全体をキャンパスに本物に触れる教育を行うことで、美術工芸に必要な美意識や感性を養う。 ・京都という都市の利点を生かし、多くの知的刺激を得て、最新のグローバル感覚、ビジネス感覚、トレンド感覚を磨く。 ・最新の研究成果を積極的に社会還元する。	・豊かな自然と落ち着いた雰囲気のもとで、高度な匠の技を身に付ける。 ・学んだ内容を実際のものづくりや文化財の修復に活かす。

東山キャンパスを設置し、ダブルキャンパスとすることで、より良き教育、研究に向けた環境を整備したいと考えております。

	方向性
都市型キャンパス	・人と人の出会い、企業との連携、国際交流等を通じた知識創造、価値創造の拠点 ・都市の魅力と連動したキャンパス
参加体験型の施設	・地域の方々、修学旅行生、観光客など、子供、学生から社会人、高齢者まで様々な方がものづくりを体験、見学できる生涯学習の拠点。
環境への配慮	・太陽光などの自然エネルギーや、自然光、自然通風などを活用 ・緑豊かなキャンパス
都市景観への配慮	・建物は、周囲の景観との調和、近隣の住環境に十分配慮
キャンパス全体が美術館	・建物内外、キャンパス随所に教員、学生の作品を展示

新キャンパスに、教育・研究に加えて、生涯学習、産業活性化、文化財保存修復に関する支援機能を持つことで、地域の活性化や京都市行政に協力したいと考えております。

	具体的内容
生涯学習支援機能	○公開講座 ○聴講生、科目等履修生の受入れ (教養科目、美術工芸科目、専門実習科目の中から、幅広く履修が可能)
産業活性化支援機能	○伝統工芸、文化財修理、工芸デザイン、建築デザイン、伝統建築等の分野における国際交流の拠点、最新情報の発信拠点となる。 ○工芸家、デザイナー、建築家や、伝統工芸を含む産業界等と連携し、最新の研究成果を積極的に社会還元する。
文化財保存修復支援機能	○地域の諸機関と連携、協力して、文化財修理分野の人材育成や学術研究を推進する。 ○その成果を活かして、京都市における文化財、歴史的建造物の保存修復に貢献する。

○元貞教小跡地を活用させていただくにあっては、京都市において小学校が自治活動の拠点の役割を果たしてきたという歴史的な経緯を十分尊重し、その機能の維持には十分配慮いたします。

○東山キャンパスの設置により、地元により下記のような貢献ができると考えております。

- ・周辺環境に調和した格調高い建築物ができることによる地域環境の向上
- ・若い学生が集まることによる地域の賑わいの創出
- ・学生の社会活動、ボランティア活動を通じた地域活動の活性化
- ・災害時の避難所など防災拠点としての機能
- ・生涯学習、産業活性化、文化財の保存修復の支援
- ・その他、建築、伝統工芸の知識、技術を生かした地域貢献

○園部キャンパス	総面積 校舎	約30万㎡ 1号館～11号館、延床面積全体 約2万3000㎡ (大学部分 8300㎡)
	学生寮 学生用駐車場	13棟、600室 300台分

○京都伝統工芸館(烏丸三条)	延床面積 約4000㎡
○大阪都島工芸美術館(大阪都島)	// 約 550㎡

【園部キャンパス】



園部駅

【京都伝統工芸館】



【大阪都島美術館】

